

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年9月24日 (第2回)
目標年度	令和 18 年度
市町村名 (市町村コード)	四万十町 (39412)
地域名 (地域内農業集落名)	立西地区 (桧生原、寺野、南川口、天ノ川、秋丸、野地、家地川)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	187 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	163 ha
② 田の面積	162 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	25 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	20 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	-11 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	44 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	5 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

立西地区は高齢化や人口減少が進んでおり、担い手や後継者が不足している。また、基盤整備を行ってから時間もたっており、水路や堰などが老朽化している。今後も継続的に耕作を行っていくためには担い手の確保や老朽化した個所の改修が必要となってきた。

○各集落の現状・課題

【桧生原】水路・パイプ・鳥獣被害防止柵の更新と機械更新時期が来ており、資金の確保が必要。

【寺野】担い手減少により用排水管理が重労働である。また、鳥獣被害防止柵の老朽化が進んでいる。用水路の老朽化により修繕が必要な個所がある。

【南川口】担い手に任せていくためには基盤整備(面整備・水路改修・暗渠排水等)が必要となる。また、営農組合の機械更新が必要となってくるため、購入資金についての検討が必要。集落の高齢化が進み、新たな担い手の確保が急務。

【天ノ川】担い手の数が少ないため、担い手が広範囲に引き受けていく必要があり、運搬用トラックなどの受け入れ出来る機械設備が必要である。また、鳥獣被害防止柵の延長、更新も必要となる。

【秋丸】道が狭くトラクターの入れない圃場がある。また、中山間直払制度の協定農地でない圃場については、維持することが困難となってきた。

【野地】水路の改修が必要。鳥獣被害防止対策の柵は設置しているが古くて機能していない箇所もあり、更新が必要。山裾の農地は日当たりが悪く、猪の被害も多い。

【家地川】堰が複数個所あるが修繕が必要。鳥獣被害防止策の更新が必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地区の基幹品目として水稻を生産している、また、その他にニラや生姜などの高収益作物の生産を継続して行っていく。

○各集落の農業の将来の在り方

【桧生原】水稻の作付が主であり、セリやニラ、生姜などの高収益作物も継続して生産していく。

【寺野】水稻が主要な品目であり、ニラと生姜などの高収益作物も継続して生産していく。

【南川口】水稻が主要な品目である。また、生姜やキュウリなどの高収益作物も継続して生産していく。

【天ノ川】水稻が主要品目であり、高収益作物として水耕セリ、生姜も継続して生産していく。

【秋丸】水稻を中心に生姜、ニラ、サツマイモなどの高収益作物も継続して生産していく。

【野地】水稻が主体であり、生姜、ピーマン、アスパラガス等も継続して生産していく。

【家地川】水稻が主要品目、他にも生姜やニラも継続して生産していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

高知県農業公社への貸借を推進しつつ、担い手(認定農業者、営農組合など)への集積を図る。
また、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者による農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	34	%	将来の目標とする集積率	31	%
--------	----	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

集落によっては生姜など土地利用型作物の作付けや水利権の関係により農地の集約化は難しいが、可能な範囲で担い手の団地数の削減や団地面積の拡大を図っていく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組

当地区として、各集落の担い手や営農組合を中心に集積・集約化を図っていく。

○各集落の方針

【桧生原】中心経営体である桧生原営農組合と集落内の担い手へ集積・集約化を図っていく。

【寺野】将来的に担い手などへの集積・集約化の検討はしていくが、水路の管理や品目の問題など課題もある。

【南川口】南川口営農組合を中心に集積・集約化を進めていく。

【天ノ川】集落内の担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を関係機関と調整し農地バンク等を活用し進めていく。

【秋丸】秋丸営農組合が担っていくほか、集落の中で管理のできる者が耕作を続けていく。集約化は集落の実情もあり難しい。

【野地】集落内の担い手を中心に集積・集約化を図っていく。

【家地川】集落内の農地は集落内の農家で管理が可能。また、現状でもある程度集約化が図れているが、集落の一部に日当たり悪い土地もあり集積・集約化は難しい。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

当地区として、農地の集積・集約化を図っていく際や事業を活用する際に機構の活用を検討していく。

○各集落の方針

【桧生原】現状、活用があまりないが、将来的に農地を集積・集約化していく際には活用を検討していく。

【寺野】現状、活用があまりないが、将来的に農地を集積・集約化していく際には活用を検討していく。

【南川口】農地バンクを活用し、それを要件とする補助事業などの活用も検討していく。

【天ノ川】現在も活用しており、引き続き活用を検討していく。

【秋丸】現在は活用していないが、今後検討が必要である。

【野地】現在は活用しておらず、今後も活用の用途はないが、事業を行う際には機構の活用を検討する。

【家地川】現状、活用していない。今後、事業を活用する際には検討する。

(3) 基盤整備事業への取組 当地区として、水路や堰などの老朽化している箇所については農地耕作条件改善事業など、基盤整備事業の活用を検討していく。 ○各集落の方針 【桧生原】令和6年度より農地耕作条件改善事業を活用し、サイフォン式の水路の改修を行っていく。 【寺野】農地耕作条件改善事業を活用し、堰やサイフォン式の用水路の修繕を検討している。 【南川口】R6年度より農地耕作条件改善事業を活用し、水路の改修を行っていく。 【天ノ川】圃場整備はだいたいしているが、前回できていない農地について、法面の崩壊の恐れがあり、事業の活用を検討していく。 【秋丸】概ね可能な箇所については基盤整備済であるが、後継者等がないため現状取組の予定はない。 【野地】農地耕作条件改善事業にて水路改修を検討する。 【家地川】集落全体では事業の予定はないが、個人で面工事をしたい意向もあり、活用可能な事業を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 各集落で方針を定め、関係機関と連携し、担い手や後継者の確保・育成を行っていく。 ○各集落の方針 【桧生原】仕事が休みである土日を利用して、農業に従事してもらうことで後継者の育成・確保に努める。 【寺野】地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 【南川口】地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 【天ノ川】地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関で連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 【秋丸】地域外から担い手を募り、意向を踏まえながら農地の集積を検討していく。 【野地】集落内に後継者がおり、できるだけ集落内の農家で耕作を続けていきたい。 【家地川】集落内で確保育成の方針は特にはないが、必要があれば関係機関等と協力し担い手の確保・育成に努めていく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組 各集落の方針に基づいて、継続的に耕作を行っていけるよう農作業委託を行っていく。 ○各集落の方針 【桧生原】集落内にオペレーターがおり、オペレーターによる農作業受託を行っている。 【寺野】営農支援センター四万十(株)に水稻のヘリ防除を委託している。 【南川口】水稻の共同防除を営農支援センター四万十(株)へ委託している。 【天ノ川】天ノ川営農組合が畔塗り機の受託を行っている。 【秋丸】集落の一部で営農支援センター四万十(株)に水稻防除を委託している。 【野地】営農支援センター四万十(株)へ水稻の共同防除と集落の一部で大豆の作業を委託している。 【家地川】なし。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

【桧生原】

- ①圃場の周りに鳥獣柵を設置し、定期的に点検をしている。老朽化しており更新が必要。
- ②一部の圃場で生姜の有機栽培を行っている。
- ⑨飼料米やWCSを生産している。

【寺野】

- ①圃場の周りに鳥獣柵を設置し、定期的に点検をしている。老朽化しており更新が必要。
- ②一部の圃場で減農薬、減肥料の特別栽培を行っている。
- ⑨飼料米やWCSを生産している。

【南川口】

- ①圃場の周りに鳥獣柵を設置し、定期的に点検をしている。老朽化しており更新が必要。また、メッキのものを使用し、長寿命化に努める。
- ②有機農業の作付を行っている。

【天ノ川】

- ①圃場の周りに鳥獣柵を設置し、定期的に点検をしている。老朽化しており更新が必要。
- ③担い手がドローンを導入し、集落内の防除も担っている。

【秋丸】

- ①金網柵の設置や定期的な点検を行っている。老朽化により更新が必要。
- ⑨WCSを生産している。

【野地】

- ①金網柵の設置や定期的な点検を行っている。老朽化により更新が必要。

【家地川】

- ①鳥獣の狩猟者が3名ほどいる。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
		別紙のとおり				ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
計						ha	ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)					備考
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示		
1	利用者	●● ●●	水稲	0.45 ha	0.00 ha	水稲	0.45 ha	0.00 ha	桧生原-1		
2	利用者	●● ●●	水稲	0.50 ha	0.00 ha	水稲	0.50 ha	0.00 ha	桧生原-2		
3	利用者	●● ●●	水稲	0.75 ha	0.00 ha	水稲	0.75 ha	0.00 ha	桧生原-3		
4	利用者	●● ●●	多品目	0.81 ha	0.00 ha	多品目	0.81 ha	0.00 ha	桧生原-4		
5	利用者	●● ●●	多品目	0.76 ha	0.00 ha	多品目	0.76 ha	0.00 ha	桧生原-5		
6	利用者	●● ●●	多品目	0.55 ha	0.00 ha	多品目	0.55 ha	0.00 ha	桧生原-12		
7	認農	●● ●●	多品目	0.41 ha	0.00 ha	多品目	0.41 ha	0.00 ha	桧生原-13		
8	利用者	●● ●●	多品目	1.34 ha	0.00 ha	多品目	1.34 ha	0.00 ha	桧生原-14		
9	認農	●● ●●	多品目	1.94 ha	0.00 ha	多品目	1.94 ha	0.00 ha	桧生原-15		
10	認就	●● ●●	露地園芸	0.15 ha	0.00 ha	露地園芸	0.15 ha	0.00 ha	桧生原-16		
11	認農	●● ●●	施設園芸	0.42 ha	0.00 ha	施設園芸	0.42 ha	0.00 ha	桧生原-17		
11	集	●● ●●	水稲	4.43 ha	0.00 ha	水稲	4.43 ha	0.00 ha	桧生原-18		
12	認農	●● ●●	多品目	2.88 ha	0.00 ha	多品目	2.88 ha	0.00 ha	寺野-1、南川口-11		
13	利用者	●● ●●	多品目	0.77 ha	0.00 ha	多品目	0.77 ha	0.00 ha	寺野-2		
14	利用者	●● ●●	多品目	0.79 ha	0.00 ha	多品目	0.79 ha	0.00 ha	寺野-3		
15	認農	●● ●●	多品目	0.12 ha	0.00 ha	多品目	0.12 ha	0.00 ha	寺野-6		
16	認農	●● ●●	多品目	1.38 ha	0.00 ha	多品目	1.38 ha	0.00 ha	寺野-7、南川口-12		
17	認農	●● ●●	多品目	2.17 ha	0.00 ha	多品目	2.17 ha	0.00 ha	寺野-8、南川口-13		
18	到達	●● ●●	多品目	2.35 ha	0.00 ha	多品目	2.35 ha	0.00 ha	南川口-1、秋丸-8		
19	認農	●● ●●	多品目	4.03 ha	0.00 ha	多品目	4.03 ha	0.00 ha	南川口-2、天ノ川-5		
20	認農	●● ●●	多品目	3.48 ha	0.00 ha	多品目	3.48 ha	0.00 ha	南川口-3		
21	利用者	●● ●●	水稲	0.69 ha	0.00 ha	水稲	0.69 ha	0.00 ha	南川口-4		
22	利用者	●● ●●	露地園芸	0.08 ha	0.00 ha	露地園芸	0.08 ha	0.00 ha	南川口-6		
23	利用者	●● ●●	露地園芸	0.42 ha	0.00 ha	露地園芸	0.42 ha	0.00 ha	南川口-7		
24	利用者	●● ●●	水稲	0.09 ha	0.40 ha	水稲	0.09 ha	0.06 ha	南川口-9		
25	利用者	●● ●●	水稲	0.46 ha	0.00 ha	水稲	0.46 ha	0.00 ha	南川口-10		
24	認農	●● ●●	水稲	5.06 ha	0.00 ha	水稲	5.06 ha	0.00 ha	南川口-14		
26	利用者	●● ●●	水稲	0.88 ha	0.00 ha	水稲	0.88 ha	0.00 ha	天ノ川-1		
27	認就	●● ●●	多品目	5.47 ha	0.00 ha	多品目	1.81 ha	0.00 ha	天ノ川-2		
28	利用者	●● ●●	水稲	1.26 ha	0.00 ha	水稲	1.26 ha	0.00 ha	天ノ川-3		
29	利用者	●● ●●	水稲	0.45 ha	0.00 ha	水稲	0.45 ha	0.00 ha	天ノ川-4		
30	到達	●● ●●	多品目	3.74 ha	0.00 ha	多品目	3.74 ha	0.00 ha	天ノ川-6、野地-2		
31	認農	●● ●●	多品目	0.66 ha	0.00 ha	多品目	0.66 ha	0.00 ha	天ノ川-7		
32	利用者	●● ●●	多品目	0.30 ha	0.00 ha	多品目	0.30 ha	0.00 ha	秋丸-1		
33	認農	●● ●●	多品目	0.94 ha	0.00 ha	多品目	0.94 ha	0.00 ha	秋丸-2		
34	利用者	●● ●●	水稲	1.10 ha	0.00 ha	水稲	1.10 ha	0.00 ha	秋丸-3		
35	利用者	●● ●●	水稲	1.48 ha	0.00 ha	水稲	1.48 ha	0.00 ha	秋丸-5		
36	利用者	●● ●●	多品目	3.69 ha	0.00 ha	多品目	0.55 ha	0.00 ha	秋丸-6		
37	利用者	●● ●●	水稲	0.64 ha	0.00 ha	水稲	0.64 ha	0.00 ha	秋丸-7		
38	利用者	●● ●●	水稲	0.10 ha	0.00 ha	水稲	0.10 ha	0.00 ha	秋丸-9		
39	利用者	●● ●●	水稲	0.52 ha	0.00 ha	水稲	0.52 ha	0.00 ha	秋丸-10		
40	認農	●● ●●	多品目	1.66 ha	0.00 ha	多品目	1.66 ha	0.00 ha	秋丸-11		
40	認農	●● ●●	多品目	0.94 ha	0.00 ha	多品目	0.94 ha	0.00 ha	秋丸-12		
41	利用者	●● ●●	水稲	0.80 ha	0.00 ha	水稲	0.80 ha	0.00 ha	野地-1		
42	利用者	●● ●●	多品目	0.64 ha	0.00 ha	多品目	0.64 ha	0.00 ha	野地-3		
43	利用者	●● ●●	露地園芸	0.24 ha	0.00 ha	露地園芸	0.24 ha	0.00 ha	野地-4		
44	認農	●● ●●	多品目	2.05 ha	0.00 ha	多品目	2.05 ha	0.00 ha	野地-5		
45	認農	●● ●●	多品目	4.04 ha	0.00 ha	多品目	4.04 ha	0.00 ha	野地-7		
46	認農	●● ●●	多品目	4.01 ha	0.00 ha	多品目	4.01 ha	0.00 ha	野地-8		
47	利用者	●● ●●	露地園芸	1.17 ha	0.00 ha	露地園芸	1.17 ha	0.00 ha	野地-9、家地川-2		
48	利用者	●● ●●	露地園芸	0.43 ha	0.00 ha	露地園芸	0.43 ha	0.00 ha	野地-10		
49	認農	●● ●●	多品目	1.50 ha	0.00 ha	多品目	1.50 ha	0.00 ha	野地-11		
50	認農	●● ●●	多品目	1.21 ha	0.00 ha	多品目	1.21 ha	0.00 ha	野地-12		
51	認農	●● ●●	多品目	2.37 ha	0.00 ha	多品目	2.37 ha	0.00 ha	野地-13		

52	認就	●● ●●	野菜	0.61 ha	0.00 ha	野菜	0.61 ha	0.00 ha	野地-14	
53	利用者	●● ●●	水稻	2.57 ha	0.00 ha		ha	ha	野地-15	
54	利用者	●● ●●	水稻	1.61 ha	0.00 ha	水稻	1.61 ha	0.00 ha	野地-16	
55	利用者	●● ●●	水稻	1.12 ha	0.00 ha	水稻	1.12 ha	0.00 ha	野地-17	
56	利用者	●● ●●	水稻	0.64 ha	0.00 ha	水稻	0.64 ha	0.00 ha	野地-18	
57	利用者	●● ●●	水稻	0.14 ha	0.00 ha	水稻	0.14 ha	0.00 ha	野地-19	
58	利用者	●● ●●	水稻	0.39 ha	0.00 ha	水稻	0.39 ha	0.00 ha	野地-20	
59	利用者	●● ●●	水稻	0.67 ha	0.00 ha	水稻	0.67 ha	0.00 ha	野地-21	
60	認農	●● ●●	多品目	4.24 ha	0.00 ha	多品目	2.14 ha	0.00 ha	家地川-1	
61	利用者	●● ●●	水稻	0.65 ha	0.00 ha	水稻	0.65 ha	0.00 ha	家地川-3	
62	到達	●● ●●	多品目	3.53 ha	0.00 ha	多品目	3.53 ha	0.00 ha	家地川-4	
63	利用者	●● ●●	多品目	0.36 ha	0.00 ha	多品目	0.36 ha	0.00 ha	家地川-5	
64	利用者	●● ●●	水稻	1.30 ha	0.00 ha	水稻	1.30 ha	0.00 ha	家地川-8	